6月 園だより

＜教育目標＞ ・元気に遊ぶ子ども
・豊かに感じる子ども
・考え工夫する子ども

R3. 5. 31　文京区立本駒込幼稚園

園内の自然環境の豊かさを再発見

副園長　山下　美幸

梅雨を感じさせる天候の日が多くなってきました。緊急事態宣言が発出され、行事の変更など、保護者の皆様にはご理解、ご協力をいただいています。まだまだ気の抜けない日々が続いていますが、幼稚園では、子どもたちの元気な声が響いています。

ちゅうりっぷ組でも弁当が始まり、幼稚園で過ごす時間が長くなりました。行動範囲も広がり、廊下で遊ぶ子どもたちの楽しそうな声が職員室まで響いてきます。職員室前の水槽にいる金魚の存在に気付き、見に来る姿も出てきました。先日、金魚の名前について、担任と子どもたちが会話をしていました。名前が無かったため、名前を決めることにし、「きんちゃん」という名前になりました。赤いバッジの名札も作って水槽に貼ると、子どもたちは、次々と塗り絵で作った友達金魚を持ってきます。担任も「きんちゃんの友達にも名札をつけよう」と言い、赤いバッジの名札を付けてくれました。その後、子どもたちはとても満足そうに、そして、より親しみの気持ちをもって水槽の金魚を見ていました。

さくら組は、ミニトマトや枝豆の苗を植え、毎日水をあげたり、咲いている花を見付けて嬉しそうに担任に知らせたりする姿が見られます。また、カエルやアオムシなどの生き物にも興味や関心が広がり、遊びの中で、カエルやカブトムシ、セミなどに変身して遊んでいます。先日、小さなミドリのカエルを見付け、嬉しそうにお家の人と見ていた子もいました。保護者の方から、「都会でも、カエルが住んでいるなんて、自然豊かでいいですね」と嬉しい言葉をいただきました。園外に出る機会が減っていますが、身近な園庭の自然環境の素晴らしさに改めて気付かされました。

５月下旬に予定されていたすみれ組の遠足は、当初の目的地の六義園ではなく、園内の環境を生かした自然探検オリエンテーリングに変更しました。もともと、栽培物や生き物などに興味、関心が高く、栽培物も大切に育てている年長組ですが、視覚や嗅覚、触覚などを働かせ、グループの友達と一緒に探したり、考えたり、意見を交わしたりしながら、園庭を散策していました。自然の中での様々な気付きや発見を喜ぶ姿が見られ、幼稚園の自然環境の豊かさに触れる機会となりました。

昨年から続くこのような状況下のため、園外に出ることも少なくなっていますが、今ある園内の環境を十分に生かしていくことで、子どもたちが様々な経験をし、豊かな遊びや生活につながっていく可能性を感じています。教職員みんなで知恵を絞り、子どもたちの豊かな成長につながるように努めてまいります。

ちゅうりっぷ組「金魚のきんちゃん」

さくら組「セミに変身！」

すみれ組「自然探検」